

# 施策評価管理シート

2012(平成24)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
企画財政部危機管理担当	生杉 哲寛	63 - 7271 (危機管理室)

施策体系	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	3	<b>防犯</b>

## 1. 施策の基本方針 Plan

- ・ 地域ぐるみで健全な生活環境の形成や防犯活動に取り組みます。
- ・ 家庭、学校、地域間の連携を強化して、青少年の非行防止に取り組みます。
- ・ 消費生活に関する啓発や相談体制の充実、消費者団体の支援に取り組みます。

## 2. 目標

重点目標

Plan

- ・ 犯罪を未然に防止する環境づくりを促進します。
- ・ 振り込め詐欺の防止を図るため、金融機関等ATM設置企業への注意喚起に係る協力を求めます。
- ・ 青少年の非行防止を図るため、青少年補導センターを拠点として名張市青少年育成推進員、名張市青少年育成市民会議等のボランティアと連携し、通年で街頭啓発パトロール、有害環境浄化活動等を実施します。

## 目標達成に向けた課題 Plan

- ・ 住民間のつながりが希薄化し、日常生活における近隣での出来事に対する無関心化が進み、犯罪が発生しやすくなったり、発生した犯罪の覚知が遅延する傾向にあります。
- ・ 振り込め詐欺は、融資や還付金など被害者の金銭欲に訴えるものが増加するとともに、複数犯による劇場型も継続して発生するなど多様な形態をとるものが発生しており、高齢者を中心に被害が発生しています。
- ・ 車上荒し、自転車盗など市民の身近な所で発生する犯罪が増加傾向にあります。
- ・ 青少年の非行防止については、小さな芽を摘み取り拡大を防ぐ必要がありますので、平常時であっても的確な情報を収集できる市民ネットワークが必要です。

## 施策指標 (目標) 及び達成状況

Plan
Do

施策指標 (目標) の内容 (単位)		現状値	2009	2010	2011	2012	2015	進捗率
		(H20)	(H21)	(H22)	(H23)	(H24)	(H27)	
犯罪に対して不安感を持っている市民の割合 (%)	目標	-	-	-	-	53.0	49.0	57%
	成果	56.9	52.9	49.1	52.4			
刑法犯認知件数 (件)	目標	-	-	-	-	797	726	99%
	成果	899	765	855	727			
初発型非行数 (件)	目標	-	-	-	-	70	60	100%
	成果	77	55	22	20			
市広報への消費生活に関する啓発情報の掲載【延べ値】 (回)	目標	-	-	-	-	29	47	43%
	成果	5	10	16	23			

## 3. 取組内容

課題解決への取組内容

Do

- ・ 名張市暴力団排除条例を施行しました。
- ・ FMなばりによる防犯啓発放送を平成23年8月から毎月1回実施しました。
- ・ 広報なばりによる防犯啓発を適時実施しました。
- ・ 名張警察署の協力を得て、防犯訓練を実施しました。
- ・ 防災ほっとメールによる防犯情報配信の準備を進めました。
- ・ 市(教委)と青少年育成市民会議が核となり、「名張少年サポートふれあい隊」を組織し、新しい情報に即応することに努めながら活動を展開しました。

地域等との連携、協働に向けた取組 **Do**

- ・川西・梅が丘地域及び蔵持地域の青色防犯パトロール隊設立にかかる委嘱状を交付しました。
- ・名張市生活安全推進協議会防犯部会員を地域づくり組織から推薦いただき、地域との連携を図るとともに、地域間の情報交換を促進しました。
- ・青少年健全育成研修会の実施にあたっては、各地域への参加を呼びかけ、関係者の参加を得ています。また、活動の中心となる青少年育成推進員の委嘱にあたっては、地域の推薦について協力を得ています。

4. 施策達成のための事務事業及び評価 (合計 2 事業) **Do** **Check**

事務事業シート番号	事業名・担当室名		事業費 (単位：千円)		事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
			2010 (H22)	2011 (H23)			
1009	地域防犯活動事業	危機管理室	2,216	2,216	継続(事務改善)	B	B
6119	青少年補導センター事業	文化生涯学習室	639	588	継続(拡大)	B	B
合計(単位：千円)			2,855	2,804			
小計(うち、一般会計分)			2,855	2,804			
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0			

5. 部局による施策評価 **Check**

評価
計画どおり事業推進
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・FMなばりによる防犯啓発放送を毎月1回実施することにより、防犯啓発の機会を増やすことができました。</li> <li>・防災ほっとメールで防犯情報を配信する準備を行ったことで、タイムリーな情報提供を行う基盤の整備が進みました。</li> <li>・名張少年サポートふれあい隊活動においては、市民の主体性が高まっています。</li> </ul>

6. 今後の施策の方向性、改善方法 **Action**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者情報や振り込め詐欺被害情報、市内で多発する犯罪情報を防犯情報として防災ほっとメールで配信するため、小中学校の保護者や高齢者等多様移民への防災ほっとメールの登録を促進します。</li> <li>・大祭等での特別警戒は、名張市生活安全推進協議会防犯部会をはじめ多くの団体が特別警戒を実施しているため、他の団体と連携を図り、より効果的な特別警戒を実施します。</li> <li>・市民の犯罪への不安感を払拭するためには自主防犯団体等の活動を市民に広報し、目に見える防犯活動を推進します。</li> <li>・地域づくり組織や名張警察署等関係機関との連携を強化し、情報連絡・共有体制を名張市全体で構築します。</li> <li>・市民ぐるみで暴力を許さない環境を醸成するため、暴力追放市民会議を設立します。</li> <li>・名張少年サポートふれあい隊活動を通じて、参加者の資質を高め、地域や各種団体の活動に還元します。</li> </ul>
---

7. 総合評価

評価
B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている
評価理由及びその他(意見)